

○議員（8番 船越 洋一君） こういう博物館とか資料館というのは、温度管理が大変なんです。温度管理をしっかりとかんとカビが生えたりしますもんで、そこら辺に経費がたくさんかかってくると思うんです。これは分館のほうにしても、博物館のほうにしても、それが大きな金がかかってくると思うんです。やっぱりそれをそのまま市民の税金で使っていきますよというわけにもいきませんので、あなたたちが努力をして、この分については、こういうところから捻出していきながら、フォローしていきますというぐらいの腹づもりでおっておかんと、財政圧迫していきます。これどこに視察に行っても、博物館はどれも赤字なんです。みんなそこで苦労していますよ。我々2、3か所行きましたけど、みんな苦労しています。だからそれをどっかで補うためには、そういう努力をしていただかんと、長く続かんでほったらかすわけにはいきませんから、赤字をしてでも維持管理はせにやいかんわけですから、そこら辺しっかり腹に据えて、やっていただきたいと、このように思います。時間来ましたんで、終わります。よろしくお願ひします。終わります。

○議長（初村 久藏君） これで、船越洋一君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩いたします。再開は、3時5分からといたします。（発言する者あり）午後3時5分から。

午後2時52分休憩

午後3時05分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き市政一般質問を行います。16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 16番、対政会、大浦でございます。本日の一般質問最後ということでございますが、3点上げとった中で、3点目の湯多里ランド、このことについて質問の内容と提出された資料の内容がかみ合わないということで、本日はその質問を取り下げます。したがって、2点でいきますので、早めに終わろうかと思ひます。

私は、今年度の改選市議会のその折に、比田勝港の国内ターミナルの運営、ここの九州郵船のうみてらしが、7月1日からいわゆる新規に出船があるという情報の下に、その北部の住民の皆様の声が、「非常に出航時間が、博多に行く時間が非常に遅いではないか」と、「晩の9時前後に船が到着し、それからほとんど用を済ますことができない」、このような声があつて、この「7月1日からスタートする前に、市に、あるいは九州郵船に対して物を申したい」、このようなお方が数人おられました。

それで、この6月にそのことを上げてみようかなと思つたんですが、地元の皆様がおる中で、

私も手を上げることよりは、一段落してから投げればと思い、今回のことで誰も北部の皆さんから手が上がらなかったということで、今回取り上げております。

これは、私はうみてらしのことは、ただ比田勝港から船が出るただの問題ではないと思っております。

と申しますのが、皆様御存じでしょうか。一昨年、JR九州は就航しておりましたビートル、ちょうどヴィーナスの大きさとほとんど同じタイプの型なんですけど、これを廃船する、廃船というのは、これを使わないということで、これが終わるかと思えば、新たに高速大型船を就航させる、このようなことをニュースで聞き入れ、一つの新しい問題としてこれがスタートしたわけですが、しかし、このことは対馬に普段から混乗便としてやっておったことが、JR九州の考えは、混乗ということはないような話し具合でございました。

これは、当時の議会の中でも私は一時このことが浮上したことで、比田勝市長は、「いやいや、それでもお願いせにゃいかん」というコメントを私は聞いた覚えがあります。

ですから、現在コロナのいわゆる蔓延で入国拒否ですね。韓国から来るわけじゃない、日本から行くわけに行かんということで船はストップです。しかし、これが再開した場合には、今の問題が浮上します。そして、間違えば比田勝港から九州本土に渡る船は、ひよっとすればうみてらしのみになる可能性がございます。そういうふうな先を見た慎重な考えで、私はそのことを市長に問うてみたいと思います。

それでは、通告に従い市政一般質問を行います。

7月1日より、比田勝博多間を就航した新造船フェリーうみてらしについてお尋ねをいたします。

本船は、総工事費24億5,000万円が投じられ、総トン数1,125トン、全長81.79メートル、全幅13.4メートル、乗船客190人収容、貨物においては乗用車43台、トラック8トン車15台が積載可能であります。

これまで就航しておりましたフェリーげんかいとの比較でありますけど、明らかに推進速度が速く、これまで5時間30分要しておりましたが、これが35分ほど短縮されております。それと、船内も上下の移動においては、エレベーターを使用しており、特に高齢者の皆様には大変喜ばれるものだと思います。

現在の時刻表でありますけど、博多発22時30分、対馬着3時25分、往路でありますけど、対馬発16時、博多着20時55分となっております。

先ほど申し上げました一昨年JR九州のジェットfoilビートルの釜山港発の比田勝経由の博多着と、いわゆる混乗便でありますけど、JR九州はビートルの廃船と同時に、大型高速船クイーンビートル（乗船可能502名）を新造し、従来どおり釜山、博多間を就航する予定であり

ましたが、コロナ入国拒否により現在一時的に国内航路に就航していると思われます。

このコロナの収束により運航が再開された場合、JR九州側の混乗案については白紙の状態、今後は全く不透明であります。万一そのようなことになれば、唯一比田勝港より九州本土へ就航する船は、うみてらしのみとなることが予測されます。

比田勝港より乗船客から「出航時間が遅過ぎる。もっと早く出航できないのか」と不満の声を聞きますが、住民側の実態を把握され、このことが改善されるよう願うところでありますが、市長の御意見を伺いたいと存じます。

次に、のり面保護と入会林野の整備についてお尋ねをいたします。

集落の家屋が密集している裏山ののり面に一般的には土砂崩れ等の災害防止を目的としたコンクリート吹きつけによるのり面保護が行われていることは、皆様御承知のとおりであります。

このことについては、県の事業で行われており、林業サイドでは治山事業、また土木サイドでは急傾斜事業で行われているようであります。

このような中で、急傾斜事業は工事箇所の所有権を県に移転することが必須の事業の要件となっております。入会林野、これ共有地です。の未整備地区においては、事業の実施はできません。そのため、工事の着工が断念されている箇所もございます。

しかし、最近の気象状況は過去のデータとは全く比較にならない記録的な豪雨の降雨量が発生しております。土砂崩れ、崖崩れは至る箇所で発生し、人命を奪う最悪の状況が各地で起こっている中、災害対策に対する考え方について改める必要があると思われます。

現在、対馬市では国県道の改良事業の箇所、予定地に入会林野の未整備地区が存在した場合、必要に応じて農林しいたけ課において業務の処理が行われておりますが、大変重要な仕事であることを理解するものであります。

急傾斜事業の予定地に入会林野が存在した場合、市の対応ができないか市長の答弁についてお尋ねをいたします。

その後、入会林野の質問内容を準備しておりましたが、内容がかみ合わないということで、この件については、私のほうは一応断念するというので市長に報告いたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 大浦議員の質問にお答えいたします。

初めに、フェリーうみてらしの運航時間の変更についてでございますが、新造船うみてらしは、本年7月1日よりフェリーげんかいに代わり、比田勝博多航路を運航しているところでございます。

フェリー更新につきましては、利用者のニーズに応じて運航時間の約1時間の短縮や、船の横揺れ防止装置の搭載、バリアフリー設備の充実などを図り、利便性に加え快適性も一段とよくな

っております。

新型コロナウイルス感染症が収束となりましたら、市民の皆様、また多くの観光客の皆様に利用していただけるものと期待をしております。

議員御質問の比田勝港の出航時刻の繰上げについてでございますが、現時点における就航ダイヤは、平成24年度に実施いたしました住民アンケートや事業者ヒアリングの結果を踏まえ、九州運輸局、九州郵船などと検討をしておりますが、博多港岸壁使用における他船との調整、沖出した場合の人件費を含む経費の増加とともに、新たな船員の確保等が必要になることなどを考慮し、設定を行われたと聞いております。

したがって、博多港での岸壁使用において、他の航路事業者との調整が厳しい現状であり、現行の就航ダイヤを変更することは非常に困難であるということについては、御理解頂きたいと思っております。

しかしながら、市といたしましても、先ほどJR九州の高速船が今現在休止になっているというようなことで、うみてらしの重要性はますます必要になるということでございますけれども、こういうことで市といたしましても、本航路は将来にわたり対馬北部地区における生活に必要な生活基盤と位置づけておりますので、市民や物流事業者等の利用者ニーズにも対応できるよう、また観光客等の利用者の確保など、さらなる利用者の増加に向けて、今後も引き続き関係機関とともに改善案を模索してまいりたいというふうに考えております。

次に、のり面保護と入会林野の整備についてでございますが、議員も御承知のとおり、急傾斜地ののり面保護等を行う場合、主な事業といたしまして、急傾斜地崩壊対策事業と治山事業がございます。

まず、急傾斜地崩壊対策事業の前提としましては、急傾斜地法では斜面を所有されている方、斜面崩壊により被害を受ける恐れのある方は、斜面を管理する責任がございます。しかしながら、個人で対策工事を行うことは費用面や技術的にも困難なことから、行政が地権者に代わり急傾斜地崩壊対策事業を実施しているところでございます。

また、整備しました構造物等を公共施設として管理するため、議員御指摘のとおり、採択要件の一つとして施工範囲の土地を無償提供し、行政へ所有権を移転していただく必要がございます。

治山事業におきましては、森林の維持造成を通じて山地災害を防止し、環境を保全するという観点から、のり面も森林に付随するものとし、土地の提供まで求めることなく、のり面保護等を実施しているところでございます。

双方の事業を実施する際には、のり面周辺の全体的な土地利用や森林状況、周辺家屋の立地状況を考慮し、双方の事業の採択要件に即した事業で対処するようにしているところでございます。

急傾斜地崩壊対策事業の施工範囲に入会地が含まれる場合におきましては、時間を要すること

となりますが、入会権者の同意を基に入会林野の整備を実施した上で事業に着手することとなります。

その際の入会林野整備に関する事務は、入会権者が主体となり進め、その支援を行政が行うこととなります。今後も、入会林野の整備の要望がある地域につきましては、入会林野等に係る権利関係の近代化の助長に関する法律に即して進めてまいります。

また、入会地がない共有地におきましては、地権者において必要とする事務手続に対処していただくこととなります。近年の異常気象と言われる集中的な豪雨も、頻繁に発生していることもありまして、警戒及び避難体制の整備を進めるとともに、急傾斜地崩壊対策事業によりのり面保護等を必要とする場合におきましては、県などの関係機関と連携し、整備を進めてまいります。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） ちょっと確認を取りますが、市長答弁の中で住民アンケートを取ってやった結果が、この時間になったと。当初の時間というのは、げんかひのことですかね。そのときのげんかひは何時出航やったんでしょうか。私はちょっとその部分が分かりませんが。

○議長（初村 久藏君） しまづくり推進部長、伊賀敏治君。

○しまづくり推進部長（伊賀 敏治君） うみてらし以前のげんかひが就航したときの比田勝港発が15時5分です。博多港発は変わりません。

ただし、1時間弱早くなりましたので、夜中の4時20分に到着していたのが3時25分到着ということになっております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 住民アンケートで確認を取ったということを私はどれだけの調査されたか、これは分かりませんが、しかし、今おられる方の大体聞いていった方については、それじゃ困るという言い方なんですよ。

要は、先ほどから言っておりますように、ジェットfoilに変わることが、多分就航はしないだろうという見込みはJR九州側は持っておるわけですよ。それがそういうふうな方向であったんですよ。大型船が入るということは、ちょっと考えにくい。

そういうことと、今回のダイヤの改正というのは、よくよく考えて発言するべきだと思います。今までの話でやった、これはそこまでのことはいいでしょう。これからどうかという話を私はしているつもりです。ですから、市長答弁に私は前向きなことではないなと。

もう一つ、その九州郵船、この会社が全て実権を握って運営をやるわけですが、今フェリーが2隻ですね、就航しております。その資料によりますと、——ちょっとすみませんね、フェリー

ちくし、きずな、これの対馬からの朝の1便、それから博多から来る10時の便ですね、そしてこの便が博多港でどう合着するか、このダイヤを一応見たところ、人件費の問題は別として調整できる時間はとりあえずあるように見えます、本当に詰めたらですね。

比田勝港はジェットフォイル等が、高速船が入らんという方向が1年半前ぐらいやったのですかね、そういうふうな話があった中で、私はこのことは重く考えて、住民の足が海上輸送の場合、このうみてらししかないというふうに考えることが、私は対馬の人間としてそんな思いをせにゃいかんと思うんですが、あんまり九州郵船の運営のことを申されましたがね、人件費が云々、このことでいいのかなという思いであります。

市長、その答弁を書かれた方はあなたじゃないかもしれませんが、率直に言って早く行かんと、日の用ができないよと。そして、ジェットフォイルは通わんよとなった場合ね、少し動かにゃいかんじゃないですか。それはそういうことであれば。

しかし、また答弁の内容が非常に余りそういうふうには考えておりませんというような感じ、その辺しっかりしてくださいよ。私は担当課のほうでね、そういうふうな文言を書かれたか知らんけども、あえてその人が早う出ろういうことをね、何か遠くで物を見るような感じの言い方に私は見えるんですが、市長、少し前向きじゃないなというふうな答弁ですよ。ちょっとその辺を、率直なあなたの思いを聞かせてください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 確かに、比田勝港を4時発で出ますと、博多港には8時55分にしか着かないということで、着いたらもう何も大方活動はできないというふうに感じております。

それと、まずその前に、住民アンケートという答弁をいたしました、これは平成24年度で、以前フェリーげんかいのときに実施をしているアンケートであります。そういうことで、まずその言うように、これをもう少し早く出すことができないかというようなことで、以前から検討はされていることは、私もかねがね聞いておりました。

特に、比田勝港のほうからできれば1時ぐらいに出航が可能となれば、北部周辺の鮮魚類をそのまま積むことが可能になるというようなこともありまして、そのような要望があったことも私記憶しております。

ただし、今度は博多港のほうのその岸壁の関係が何か他社の船あたりとなかなか調整がつかないというようなこともちょっと聞いておりましたので、そこら辺については、また今後九州郵船さんやら先ほど申しました九州運輸局さんとできる限りの協議等は進めてまいりたいと思います。

議員おっしゃられるように、これまでJRのジェットフォイルが就航していた船が、このまずコロナの関係もございすけども、なかなか就航の見込みが薄くなったというようなことでありますので、そこら辺の協議については、再度また取り組んでまいりたいと思っております。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） げんかいを含むことで、この2か月が過ぎておるわけですが、貨物やら人の状況をどういうふうになっておるかというのを、やはりお互いにチェックする必要があります。

私がチェックした内容は、わずか2か月の運航のうみてらしの状況は、平均乗船客が1日17人、そういうことになっております。それから、これは比田勝から博多、車両がわずか3.8台、1日平均ですよ。博多から比田勝は20人、車両は4.7台。この期間は、コロナが博多、福岡県にかなりの感染をしようとした頃でありまして、県外の出張、不要不急のことは避けて、なるだけ旅行はしない、このような時期でありましたから、かなり厳しい時期だと思いますので、参考になることはございませんが、ただ、このようなことでございました。

貨物の取扱いは、先ほど市長が申しましたように、げんかいや今の船に鮮魚、要は保冷車を積んでおらんわけですよ。私は、福岡の魚市に物を出すために夜の船に乗せれば、朝方の市に間に合うんじゃないかという頭があったもんですから、どうなのですかということで聞いたところ、実は最近そういうことではないと、福岡に積み出した後、中国地区、広島もしくは関西に博多魚市場以上の要は高値になれば、そこに物を切り替えるというふうなことをやるそうですよ。だから、早い船に乗らんとそのことができないよと。今の14時出航、これじゃとても間に合わないということで乗らないそうです。

ですから、最終的には貨物しか持っておらないが、保冷車の中に雑貨を積んで、それで3台ぐらいやっておりますという意見、大手の水産会社の方の意見ですが、それと大手の宅配便、これはどう変わろうと、それについていきますと。時間の変更には十分ついていきますと。だから、貨物のほうについてはほとんど問題がない。

そうしますと、博多港の岸壁使用の、いわゆる時間の調整をこれが全てであります。ですから、今後私はJR九州の大型船、この寄港がない、混乗ができないという想定の中で、私は今回の問題は取り扱わないと。北部地区の皆様にとっては早く旅に、僅か片道3,200円じゃないですか。3,200円で博多に着くわけですよ。そうすればね、船の中、快適な状況であるそうです。

そうしてエレベーターを使う、先ほど言いますように、体の不自由な方、お年寄り、非常に楽であります。以前のげんかいと違うということをもう少し考えてほしい。ひよっとすれば、私はそんなに金を使わずに急がん旅が、この船に限るというふうなことに切り替わる可能性があるかと、こういうふう位置づけて、早ければ保冷車が乗るということを書いていました、その社長さんですね。

大型の保冷車の事業をやられる方の意見はそういうことになりますということで、私はその辺の実態を随分把握されて、九州郵船に私は市長、こういうことを言っただけですけど、赤

宇航路の対応問題、ここにおいては、以前から私も総務委員会の中で、この赤字航路の補填問題をチェックしたことがございます。

国においては、地域公共交通確保維持改善事業、離島航路運営費等補助金、これが何と赤字総額の2分の1を国が持つ。そして、残りは長崎県離島航路事業対策補助金、赤字の2分の1を全額補助する、こういうふうな比田勝港に対するやはり経営の維持、これを国県がする中で、これに甘えてはいかんと私は思うんですよ。どれだけ国が斜めになっていくかわかりません。そして、こういうことがひよっとしたらじわじわできにくくなるかもしれん。

ですから、今のうちに船が大きくなっておりますよ。私見に行きました。げんかいとやはりちょっと違いますね。乗り心地もかなりいいということで評判でありました。何人かに聞いたんですがね。

これを今回やはりいかに対馬出航の時間を何としても前に進めたいということ、九州郵船側に働きかけてほしいと思うんですよ。これはお返ししていい話ですよ。そこまでね、赤字をやはり補填していただいたことも、一つのやはり返さにかいかん材料じゃないかなと。その中の比田勝航路のいわゆる前向きな対応も配慮していいんじゃないかなと、私はそういうふうに思います。市長、どう思われますか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） やはり議員おっしゃられるように、ジェットfoilビートルがちょっと今厳しい状況にある中におきましては、今後このうみてらしの重要性がますます叫ばれてくると先ほども申しました。

そういうことで、できるならばやっぱり北部の方たちは、もう少し時間が早まることによって、この利用が増えるのではないかというふうに思いますし、ここは再度北部の利用される住民の皆様様の意見等をしっかりと集めながら、今後九州郵船並びに九州地方運輸局等とこころ辺の話を前に進めていきたいと思えます。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） ひとつそういうふうな思いがあることの方が、私がお話した方々においてはそうありました。それは事実であります。今おっしゃいますように、十分本当の現実を把握され、そういうふうなことを市なりにまとめる、あるいは意見を聞く、これはひとつやってほしいと思えます。

そして、また合意に達すれば、そのような動きを九州郵船なりにしてほしいと思えます。それは貨物のほうも、そして乗客のほうも問題ない、喜ぶというような結論は、私が聞いた限りでは出ておるようにあります。その辺をひとつ力強く取り組んでほしい、かように思いまして、ただいまの件については終わります。



入会林野の整備、要は共有地の何人持ちを、一本の例えばある地区の名前の生産森林組合という名前に変えないと、売買ができませんわけです。過去に自治体の中でこの問題に取り組んだ事例はたくさんありました。しかし、最後には全部できずに終わった地区が結構ありました。旧美津島町のことですけどね。

それなぜかということは、やはり長く時間がかかるというふうなことがあったんでしょう。先ほど市長の答弁は、集落の皆さんにそのことはやってくださいよということをちょっと申し上げたんですね。私が言うのは、それができないから話をしているんですが、そこら辺りが突っ張るわけじゃなくて、話し合いはもう少ししていいんじゃないでしょうか。

それは、市の中で100%持つとか、あるいは地元が幾らか持てとか、そういう話そのものがあっていいんじゃないでしょうか。何か私は突っ張られたような気がするんですがね、どうなんですか。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） 大浦議員さんの御質問にお答えいたしますが、先ほど生産森林組合のことも出まして、ちょっと意味がよく理解できなかった部分があるんですけども、市長が冒頭説明しました地区がやるというようなことは、法的には入会集団がまず入会整備をやる。行政はそれを後押ししなさいという位置づけがあっているということ、最初の答弁ではさせていただいたところでございます。

それ入会につきましては、道路だけじゃなくて公共事業が予定されているところは、優先的に取り組んでいくということにしておりますので、今後もそのように取り組んでいく予定でございます。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 確認しますが、公共事業という言葉の中に、急傾斜地崩落何とか事業、通常急傾斜事業というふうな略称なんですけど、このことを公共事業という解釈してよろしゅうございますか。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） 結構でございます。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） それで、私が了解いたしました。

本日湯多里ランドの質問を準備しておったんですが、どうも質問の意味と整理されている市役所側の本題と異なる点がございまして、これはちょっとかみ合わないということで、私も今日のところそのことは提出を取り下げます。

そして、質問については本日これで打ち切ります。

ちょっと早いんですが、1件事を外したもんですから、当然早く終わるということで、これで私の一般質問を終わります。

○議長（初村 久藏君） これで大浦孝司君の質問が終わりました。

---

○議長（初村 久藏君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後3時48分散会

---